

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-41 高齢者保健事業	■ 自治事務	主管課	市民健康課
	■ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	65歳以上の高齢者（機能訓練については、40歳以上）
意図	高齢者の介護予防や健康の増進を図るため。
効果	健康に対する意識を高め、生きがいのある生活を送ることができる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・健康教育（健康づくり、介護予防など）、健康相談（生活習慣改善、栄養、介護予防など）を実施した。
 ・関節疾患等の方（40歳以上）の機能維持・社会参加を目指し、機能訓練（日常生活や基本動作の訓練等）を実施した。
 ・後期高齢者医療保険の保険証受給者及び生活保護受給者に対し、後期高齢者健診及び生活保護受給者健診を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	105,728	当初予算(千円)	113,261	
	国県支出金	246	国県支出金	2,486	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	91,088	その他	96,163	
	一般財源	14,394	一般財源	14,612	
	人員配置数	4.3	人員配置数	3.8	
	人件費(千円)	32,563	人件費(千円)	29,941	
事業経費運営	総事業費(千円)	138,291	総事業費(千円)	143,202	
	市民1人当りの経費(円)	779	市民1人当りの経費(円)	810	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており（法廷受託事務等）、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており（法定受託事務等）、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており（法定受託事務等）、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており（法定受託事務等）、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 △-9. 実施が義務付けられており（法定受託事務等）、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す → ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直し類の ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他 見直し類の 平成27年度に策定した健康増進計画や介護予防総合事業（平成29年度から実施予定）への移行を視野に入れ、事業を整理していく。 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 「自分の健康は自分で守る」という意識を向上し、市民一人一人が生活習慣の改善等の行動を起こせることを目標に、健康づくりの普及・啓発を継続して実施する。
総評（評価に対する考え方、根拠等）	市民の健康の維持増進を図り、疾病や介護予防につなげることで、将来的な医療・介護にかかる費用の削減を目的としているため、事業の縮小は考えられない。現時点では、受益者負担等は求めているが「健康づくり計画」との整合性を取り、成人期～高齢期の健康づくり事業の、系統的な内容の検討が必要と思われる。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	(健康教育等)講座開催の他、地区組織での健康教育を希望に応じて実施し、高齢者の健康づくりを推進する必要がある。 (機能訓練教室)平成26年度から関節疾患クラスのみとした。プログラム内容、担当職種、日程等の調整が必要。 参加者実数が定員に達しない。周知方法の検討が必要。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	(健康教育)日常生活の中に健康づくりを取り入れ継続しやすい内容の講座を企画した。地区組織においては、団体からの要望に応じた、日程・会場・内容の知識の普及に努め、地域における健康づくりの推進を図った。 (機能訓練教室)ホームプログラムが定着できるよう、毎回、内容の確認、チェック表、評価シートを導入することで、参加者が自らの状態を客観的にとらえられるように工夫した。また事業終了後の地域における疾病予防支援として、修了者が立ち上げた自主グループへの参加を随時紹介し、運動が継続できるように支援した。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	(機能訓練教室)参加者の年代が比較的若く(平均年齢58歳)、潜在的な対象者は存在すると思われるが、就労や家庭の事情などにより、参加者実数が定員に達しない。医療機関等の関係機関との協力による周知や、参加者の生活に応じた補助的日程を設けることを引き続き検討する。また事業のあり方についても再検討の予定。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	健康教育(講座、地区組織)、健康相談の参加(利用)者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
地域で実施するイベント等も含め、生活習慣病予防や健診の受診勧奨等様々なことを普及啓発できた人数であるため(65歳以上)	目標値	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500		2,600		
	実績値	2,263	1,795							
	達成率	107.8%	81.6%							
指標の内容	機能訓練教室参加率(回数にしめる参加延人数)					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
ホームプログラムを習得することを目指しているため。	目標値	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0		85.0		
	実績値	72.8	64.4							
	達成率	91.0%	75.8%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	更なる高齢化社会の到来に向け、誰もができるだけ長く、自分らしく暮らし続けることができるまちづくりを目指す。「自分の健康は自分で守る」ことを意識し行動できる市民を増やしていく。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---